

## 区政モニター結果を踏まえた見直しの方向性案

### 【方向性①】

「生物多様性」に関連する情報（生きものの情報）や取組み（取組みの場・保全活動に参加するきっかけとなる情報）の発信の強化

<理由>

- ・「生物多様性」の言葉の認知度は高いものの、回答者が取組みやその成果を実感できていない

「ちよだ生物多様性プラン」やプランに記載された取組みの周知の強化、効果的な情報発信を行う必要がある。（関連設問：Q1、Q4、Q5、Q11、Q13）

- ・Q1で「生物多様性」の言葉の認知度、Q2で「生物多様性」への関心度は高いものの、千代田区の取組みそのものの認知度が低い。
- ・Q13で以前より生物多様性への配慮が充実した・改善したと感じる場所について、「特になし」の回答が最も多い。

「行動計画3」⑤生きものに配慮した公園づくりや街路樹整備の推進

「行動計画5」⑪生きものを観察できる場所の整備

「行動計画9」⑯生物多様性の普及啓発の実施

「行動計画10」⑳区民参加型モニタリング調査

### 【方向性②】

方向性①にも関連し、身近な環境や日々の暮らしの中から始められるアイデアの積極的な情報提供やIT技術等を活用した取組みへの参加の促進強化

<理由>

- ・「時間的制約」「取組みや活動の周知不足」が原因となった参加意欲の低さが見られる。

参加型の保全活動やイベントへの参加について、参加しない理由が「忙しくて時間が無い」の回答が最も多く、気軽に参加できる仕組みづくりや、意識の変化を促す必要がある。（関連設問：Q5-2、Q9-1、Q11）

- ・Q11で「活動を知らなかったが参加してみたい」の回答が最も高い。参加の促進に効果的な情報提供が不十分。

「行動計画3」④生物多様性表彰制度の創設

「行動計画9」⑯生物多様性の普及啓発の実施

「行動計画10」⑳区民参加型モニタリング調査

### 【方向性③】

#### 公共施設での情報提供及び紙媒体を含む効果的な情報提供の継続

<理由>

- ・依然として「区の広報紙」や「町内会での配布物」での情報提供が必要な回答が多く、特に区民向けには有効である。

啓発や案内について、紙媒体も継続して活用していく必要がある。(関連設問：Q6、Q7、Q8、Q5-1)

- ・Q7、Q8の情報や取組を知ったきっかけで「区の広報誌」が最も回答が多い。
- ・Q6で区内生きもの情報等が「あまり発信・共有されていないと思うので、増やしてほしい」の回答が最も高い。また、Q8で周知に理想的な媒体で「区の広報誌」が最も多く自由記述で「特化した印刷物の配布」「町内会での配り物」の回答があった。

「行動計画10」⑱生きもの情報の収集・管理・活用  
「行動計画10」⑳区民参加型モニタリング調査

### 【方向性④】

#### 暮らしや経済活動・家計に直結する分野と生物多様性の関わりを再認識する取組みの強化

<理由>

- ・生物多様性の保全に関わる自身の取組みとして、節水や節電、地産地消、水質浄化など、生活環境・暮らしに関わる事項に関心が高い。

生活環境への関心は高いことから、生活環境からアプローチを効果的に活用した普及啓発を強化する必要がある。(関連設問：Q16)。

「行動計画9」⑯生物多様性の普及啓発の実施

### 【方向性⑤】

#### 「生きもの・生態系ネットワーク」や「自然ふれあいの場・機会」の情報整備・管理・運用の強化

<理由>

- ・自らが行動する際に必要な情報として「生きものに関する一般的な知識」「外来生物」「希少な生きものやその生息環境等の情報」の回答が多い。
- ・区が力を入れていくべき取組みについて、「緑地やビオトープの整備」「生きものを観察できる場所の整備」「普及啓発・環境学習」の回答が多い。

生きもの情報のデータベース化や緑のネットワークの見える化を図り、活用の仕方も含めて市民に情報提供する必要がある。(関連設問：Q17、Q18)。

「行動計画10」⑱生きもの情報の収集・管理・活用  
「行動計画10」⑳区民参加型モニタリング調査